

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年10月15日
【四半期会計期間】	第50期第2四半期（自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日）
【会社名】	株式会社リンガーハット
【英訳名】	RINGER HUT CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 米濱 和英
【本店の所在の場所】	長崎県長崎市鍛冶屋町6番50号 （同所は登記上の本店所在地で実際の業務は下記で行っております。） 東京都品川区大崎一丁目6番1号TOC大崎ビル14階
【電話番号】	（03）5763-9100
【事務連絡者氏名】	取締役 管理部担当 佐々野 諸延
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区大崎一丁目6番1号TOC大崎ビル14階
【電話番号】	（03）5763-9100
【事務連絡者氏名】	取締役 管理部担当 佐々野 諸延
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡県福岡市中央区天神二丁目14番2号） 株式会社リンガーハット本社 （東京都品川区大崎一丁目6番1号TOC大崎ビル14階）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第2四半期連結 累計期間	第50期 第2四半期連結 累計期間	第49期
会計期間	自平成24年3月1日 至平成24年8月31日	自平成25年3月1日 至平成25年8月31日	自平成24年3月1日 至平成25年2月28日
売上高(千円)	17,253,330	18,140,914	35,073,061
経常利益(千円)	330,241	536,299	1,233,163
四半期(当期)純利益(千円)	151,153	315,244	632,032
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	148,187	313,348	724,254
純資産額(千円)	9,845,105	10,527,050	10,310,816
総資産額(千円)	24,560,902	24,462,635	24,513,027
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	6.85	14.29	28.65
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	40.0	43.0	42.0
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	682,355	962,280	1,894,297
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,192,546	534,018	1,509,607
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	360,326	873,540	151,631
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	919,419	867,998	1,309,704

回次	第49期 第2四半期連結 会計期間	第50期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年6月1日 至平成24年8月31日	自平成25年6月1日 至平成25年8月31日
1株当たり四半期純利益金額又は1株 当たり四半期純損失金額( ) (円)	0.33	4.97

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の新たな経済政策や金融政策等への期待感により全体としては回復傾向にあり、先行きは明るさが増しております。

外食産業におきましては、消費マインドに改善が見られる一方で、原材料価格の上昇や競合他社はもとより業種を越えた厳しい競争状態は依然として続いております。

このような環境下、当社グループは「全員参加で企業体質を改革しよう」のスローガンのもと、強固な企業体質づくりに取り組んでまいりました。

店舗の出店及び閉店につきましては、当第2四半期連結累計期間中に「長崎ちゃんぽんリンガーハット」を14店舗出店し、9店舗閉店いたしました。「とんかつ浜勝」は1店舗出店し、1店舗閉店いたしました。結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は当社グループ合計で前連結会計年度末より5店舗増加し、国内629店舗、海外8店舗の計637店舗となりました。(内直営476店舗、FC161店舗)

店舗売上高につきましては、リンガーハット、浜勝ともに低価格戦略商品の投入により、当第2四半期連結累計期間の既存店客数前年比は108.8%と好調に推移いたしました。一方で客単価前年比は93.6%に低下し、既存店売上高前年比は101.9%となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は18,140百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益は590百万円(同49.0%増)、経常利益は536百万円(同62.4%増)、四半期純利益は315百万円(同108.6%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (長崎ちゃんぽん事業)

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」では、500円の海鮮とくちゃんぽんや390円の夏とく冷やし麺等の低価格戦略商品を充実させるとともに店舗立地タイプ別に様々な営業施策を講じ、5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)の徹底に取り組み、客数増加を図ってまいりました。

このような施策や3月度のTV放映効果により、当第2四半期連結累計期間の既存店客数前年比は108.4%となりましたが、客単価前年比が93.0%に低下したことにより、既存店売上高前年比は100.8%となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高13,523百万円(前年同期比6.1%増)、営業利益296百万円(同48.5%増)となりました。

#### (とんかつ事業)

「とんかつ浜勝(はまかつ)」では、690円からの新ランチメニューや990円シリーズと銘打ったお手頃な価格のとんかつメニューを投入するとともに、ランチメニューを17時までご提供する等、客数の増加を図ってまいりました。また、フレッシュ野菜を使った生ドレッシングを自社開発し、麦ごはんに発芽大麦と黒米を追加する等、お客さまの健康志向にも積極的に応えてまいりました。

このような施策が奏功し、当第2四半期連結累計期間の既存店の対前年比は売上高105.2%、客数110.8%、客単価95.0%となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,405百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益223百万円(同110.7%増)となりました。

(和食事業)

和食事業の「長崎卓袱浜勝(ながさきしっぽくはまかつ)」につきましては、長崎の郷土料理である卓袱料理を観光客はもちろんのこと長崎の地元の皆さまにも楽しんでいただけるように上質なおもてなしとともにお手ごろな価格で提供しております。当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高95百万円(前年同期比1.7%増)、営業損失3百万円(前年同期は営業損失8百万円)となりました。

(設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業の「リンガーハット開発株式会社」につきましては、当社グループ店舗の設備メンテナンスや機器保全が主な事業であり、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高783百万円(前年同期比26.0%減)、営業利益72百万円(同26.8%減)となりました。

(2) 財政状態

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ50百万円減少し、24,462百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ266百万円減少し、13,935百万円となりました。これは主に短期借入金の減少によるものであります。

純資産は利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ216百万円増加し、10,527百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ441百万円減少し、867百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ279百万円増加し、962百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ658百万円減少し、534百万円となりました。これは主に、直営の新規出店の減少により設備投資を抑制し、有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ1,233百万円減少し、873百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、81百万円であります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	46,000,000
計	46,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年10月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	22,067,972	22,067,972	東京証券取引所 (市場第一部) 福岡証券取引所	単元株式数 100株
計	22,067,972	22,067,972		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
平成25年6月1日～ 平成25年8月31日	-	22,067	-	5,066,122	-	2,079,391

(6)【大株主の状況】

平成25年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
ヨネハマホールディングス有限会社	福岡市南区長住5-8-28	2,168	9.83
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口4)	東京都中央区晴海1-8-11	1,021	4.63
株式会社十八銀行	長崎県長崎市銅座町1-11	1,005	4.55
第一生命保険株式会社 (常任代理人 資産管理サービス信 託銀行株式会社)	東京都千代田区有楽町一丁目13番1号 (東京都中央区晴海1-8-12晴海アイランドト リトンスクエアオフィスタワーZ棟)	629	2.85
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	535	2.42
アサヒビール株式会社	東京都墨田区吾妻橋1-23-1	527	2.39
株式会社福岡銀行	福岡市中央区天神2-13-1	348	1.58
麒麟麦酒株式会社	東京都中央区新川2-10-1	332	1.51
ヤマエ久野株式会社	福岡市博多区博多駅東2-13-34	250	1.13
株式会社損害保険ジャパン (常任代理人 資産管理サービス信 託銀行株式会社)	東京都新宿区西新宿一丁目26番1号 (東京都中央区晴海1-8-12晴海アイランドト リトンスクエアオフィスタワーZ棟)	246	1.12
計		7,064	32.01

(注) 上記日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)の所有株式数1,021千株は信託業務に係る株式数  
であります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 10,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,007,300	220,073	
単元未満株式	普通株式 50,072		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	22,067,972		
総株主の議決権		220,073	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式84株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社リンガーハット	長崎県長崎市鍛冶屋町6番50号	10,600	-	10,600	0.05
計		10,600	-	10,600	0.05

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,309,704	867,998
売掛金	402,151	521,126
商品及び製品	44,136	49,942
仕掛品	12,242	8,057
原材料及び貯蔵品	299,698	286,855
前払費用	420,543	329,050
未収入金	413,700	717,368
繰延税金資産	80,113	88,216
その他	98,322	136,948
流動資産合計	3,080,614	3,005,564
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,997,022	7,918,320
機械装置及び運搬具(純額)	811,941	810,979
土地	6,001,327	6,001,327
リース資産(純額)	298,079	272,440
建設仮勘定	16,101	155,691
その他(純額)	534,293	557,053
有形固定資産合計	15,658,765	15,715,813
無形固定資産	193,946	229,146
投資その他の資産		
投資有価証券	621,936	695,681
差入保証金	1,017,043	1,027,271
建設協力金	310,908	268,036
敷金	2,537,121	2,505,425
繰延税金資産	699,426	693,874
その他	415,869	344,425
貸倒引当金	22,605	22,605
投資その他の資産合計	5,579,701	5,512,110
固定資産合計	21,432,413	21,457,070
資産合計	24,513,027	24,462,635

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	630,129	868,518
短期借入金	2,494,000	1,512,000
1年内返済予定の長期借入金	1,473,696	1,844,828
1年内償還予定の社債	220,000	220,000
未払金	460,727	554,053
未払費用	761,092	929,256
リース債務	82,917	86,171
未払法人税等	321,111	229,859
未払消費税等	138,543	144,707
繰延税金負債	1,608	-
株主優待引当金	65,739	68,371
店舗閉鎖損失引当金	52,858	11,162
資産除去債務	22,949	4,669
その他	250,227	297,454
流動負債合計	6,975,599	6,771,053
<b>固定負債</b>		
社債	480,000	370,000
長期借入金	3,765,738	3,766,978
長期未払金	420,978	420,619
リース債務	255,511	261,481
繰延税金負債	11,186	11,186
退職給付引当金	938,459	950,447
長期預り保証金	336,989	346,857
資産除去債務	992,907	1,019,804
その他	24,840	17,156
固定負債合計	7,226,612	7,164,530
負債合計	14,202,211	13,935,584
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	5,066,122	5,066,122
資本剰余金	4,427,356	4,427,356
利益剰余金	694,955	899,910
自己株式	11,162	11,968
株主資本合計	10,177,272	10,381,421
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	125,672	128,814
為替換算調整勘定	7,870	9,444
その他の包括利益累計額合計	133,543	138,259
少数株主持分	-	7,370
純資産合計	10,310,816	10,527,050
負債純資産合計	24,513,027	24,462,635

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	16,525,229	17,475,643
売上原価	5,631,368	5,807,155
売上総利益	10,893,860	11,668,487
その他の営業収入	728,101	665,270
営業総利益	11,621,962	12,333,758
販売費及び一般管理費	11,225,441	11,742,896
営業利益	396,520	590,861
営業外収益		
受取利息	4,509	3,349
受取配当金	4,637	5,253
保険解約返戻金	-	6,511
店舗閉鎖損失引当金戻入額	807	6,731
その他	11,836	6,280
営業外収益合計	21,791	28,126
営業外費用		
支払利息	62,914	56,315
社債発行費	2,817	-
持分法による投資損失	6,203	8,615
その他	16,135	17,757
営業外費用合計	88,070	82,688
経常利益	330,241	536,299
特別利益		
収用補償金	121,502	-
段階取得に係る差益	-	6,554
負ののれん発生益	-	891
特別利益合計	121,502	7,446
特別損失		
投資有価証券評価損	45,714	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	2,528	-
減損損失	11,121	-
固定資産除却損	82,480	16,421
本社移転費用	24,071	-
その他	984	1,369
特別損失合計	166,900	17,790
税金等調整前四半期純利益	284,843	525,955
法人税等	133,690	216,029
少数株主損益調整前四半期純利益	151,153	309,925
少数株主損失( )	-	5,318
四半期純利益	151,153	315,244

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	151,153	309,925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80	3,141
為替換算調整勘定	-	2,700
持分法適用会社に対する持分相当額	2,884	2,419
その他の包括利益合計	2,965	3,422
四半期包括利益	148,187	313,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,187	319,960
少数株主に係る四半期包括利益	-	6,611

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	284,843	525,955
減価償却費	599,453	617,988
減損損失	11,121	-
株主優待引当金の増減額(は減少)	5,112	2,632
退職給付引当金の増減額(は減少)	33,039	11,981
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	31,192	41,695
受取利息及び受取配当金	9,146	8,602
支払利息	62,914	56,315
投資有価証券評価損益(は益)	45,714	-
持分法による投資損益(は益)	6,203	8,615
有形固定資産除却損	82,480	16,421
売上債権の増減額(は増加)	96,243	118,874
たな卸資産の増減額(は増加)	56,348	16,747
仕入債務の増減額(は減少)	191,801	235,226
未払消費税等の増減額(は減少)	19,965	6,164
その他の流動資産の増減額(は増加)	205,386	270,953
その他の流動負債の増減額(は減少)	229,331	179,800
長期未払金の増減額(は減少)	1,912	359
預り保証金の増減額(は減少)	4,800	9,867
その他	165,211	32,733
小計	971,406	1,279,965
利息及び配当金の受取額	5,766	5,845
利息の支払額	62,603	54,559
法人税等の支払額	232,214	268,970
営業活動によるキャッシュ・フロー	682,355	962,280
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	10,000	-
有形固定資産の取得による支出	1,364,546	511,196
有形固定資産の売却による収入	225,221	34,009
投資有価証券の取得による支出	638	635
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	24,986
関係会社株式の取得による支出	-	92,977
建設協力金等の支払による支出	207,844	28,629
建設協力金等の回収による収入	171,688	129,963
その他	26,426	39,566
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,192,546	534,018

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	142,000	982,000
長期借入れによる収入	1,430,000	1,150,000
長期借入金の返済による支出	862,273	777,628
社債の発行による収入	200,000	-
社債の償還による支出	123,000	110,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	33,429	42,828
自己株式の取得による支出	168	806
配当金の支払額	108,802	110,277
財務活動によるキャッシュ・フロー	360,326	873,540
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>		
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	2,352	3,573
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	152,216	441,706
現金及び現金同等物の期首残高	1,071,636	1,309,704
現金及び現金同等物の四半期末残高	919,419	867,998

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
給料手当	4,852,211千円	5,135,387千円
賃借料	2,129,884	2,132,858
株主優待引当金繰入額	45,648	45,268

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
現金及び預金勘定	919,419千円	867,998千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	919,419	867,998

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月24日 定時株主総会	普通株式	110,290	5	平成24年2月29日	平成24年5月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末  
後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月10日 取締役会	普通株式	110,289	5	平成24年8月31日	平成24年11月15日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月24日 定時株主総会	普通株式	110,289	5	平成25年2月28日	平成25年5月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末  
後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月11日 取締役会	普通株式	110,286	5	平成25年8月31日	平成25年11月14日	利益剰余金



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	和食	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注)3							
外部顧客への売上高	12,663,104	4,208,342	94,330	287,552	17,253,330	-	17,253,330
セグメント間の内部 売上高又は振替高	80,707	24,374	-	771,072	876,154	876,154	-
計	12,743,812	4,232,717	94,330	1,058,624	18,129,485	876,154	17,253,330
セグメント利益又は損 失( )	199,342	106,064	8,084	98,713	396,035	484	396,520

(注)1. セグメント利益又は損失( )の調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	和食	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注)3							
外部顧客への売上高	13,523,563	4,405,599	95,933	115,817	18,140,914	-	18,140,914
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	667,224	667,224	667,224	-
計	13,523,563	4,405,599	95,933	783,042	18,808,139	667,224	18,140,914
セグメント利益又は損 失( )	296,069	223,516	3,036	72,243	588,792	2,069	590,861

(注)1. セグメント利益又は損失( )の調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	6円85銭	14円29銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	151,153	315,244
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	151,153	315,244
普通株式の期中平均株式数(千株)	22,058	22,057

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年10月11日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....110,286千円

(ロ) 1株当たりの金額.....5円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年11月14日

(注) 平成25年8月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月11日

株式会社リンガーハット

取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 森 行一 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 堺 昌義 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社リンガーハットの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社リンガーハット及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。